

Q. 中庄路川改修および 周辺農業用水の見直しを

周辺農業用水の見直しを

A. 木製堰をステンレス製 自動転倒ゲートに改修した



大口 司郎 議員

Q 県道名古屋豊山
稲沢線、社教セン
ターまでの区間が、9月
末から通行でき、長期を
要した工事も周辺住民の
多大な協力をもって終結
することとなった。順次
町道変更が行われるが、
変更までの期間内に県へ
改修すべき箇所を早急に
提示していただきたい。

それは、商工会周辺及び
新町北地域の排水問題で
ある。まずは、県道を渡

る暗渠を現状より大きく
する事及び中庄路川流域
(大門、中之町、新町)
の排水を見直すことが急
務と考える。この事業は、
長年この地域の懸案事項
である。提出資料は、そ
のため平成12年に私が
調査依頼した資料である。

A 県道名古屋豊山
稲沢線は、9月26
日に社会教育センターか
ら山田ふとん店の区間が
供用開始され、現在の県
道(商工会西側道路)は、
しばらくの間は県が管理
するが、将来は町に移管
される。

この県道に設置されて
いる中庄路川の横断暗渠
を、愛知県から移管され
る前に、県に改修するよ
う要望することは、町が



完成した自動転倒ゲート

管理する水路のため、対
象外になると考えている。
中庄路川沿いの大門、
新町、中之町の地域では、
集中豪雨のたびに浸水被
害が発生していたが、豊
山保育園の南の木製堰を
昨年度、ステンレス製の
自動転倒ゲートに改修
し、豪雨時にはゲートが
自動転倒するため、緊急
時の水位上昇に対応でき、
浸水被害も解消できると
考えている。

この県道に設置されて
いる中庄路川の横断暗渠
を、愛知県から移管され
る前に、県に改修するよ
う要望することは、町が